

2010年2月14日(日)のセミナーに参加しました。

以前から興味のある「動物看護職によるパピークラス」を聴講しました。

最近、勤務している病院でも子犬を飼い始めて来院してくる機会が増え、それとともに吠えグセや嘔みグセ、食糞など子犬の問題行動・しつけについて質問を受ける機会も増えてきました。

そこで実際にパピークラスが開けたりするものかと講演を聞いてみると、犬の社会化期に過ごした環境に大きく左右されてしまうのだなと感じました。

しかし、6～7週齢の間に飼主に渡るのがベストという話でしたが、私の病院では、この時期に飼い始める飼主は少なく、飼い始めても共働きや1人暮らしの飼主が多く、問題行動がひどくなってからの相談が多く、そこからアドバイスしてもなかなか実行できる飼主も少なく、現場としてはこの講演の内容を活かす方法を模索していかなければと感じました。

今後更に、行動学やパピークラスについて学んで良いパピー教育の出来る病院にして、犬も飼主も幸せにしていくことができるよう勉強を続けていこうと思います。